

豊平峡ダム・定山溪ダムの防災操作の効果について

平成24年5月2日からの融雪等による出水に対応し、豊平川の上流にある豊平峡ダム、定山溪ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

ダムに流れ込んでくる水の過半を貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、豊平川の北13条大橋（雁来水位観測所）付近の水位を**約2m程度低減**させたと想定されます。

定山溪ダムの貯留状況

5/4 AM11:30頃

防災操作前



5/4 PM1:00頃

防災操作中



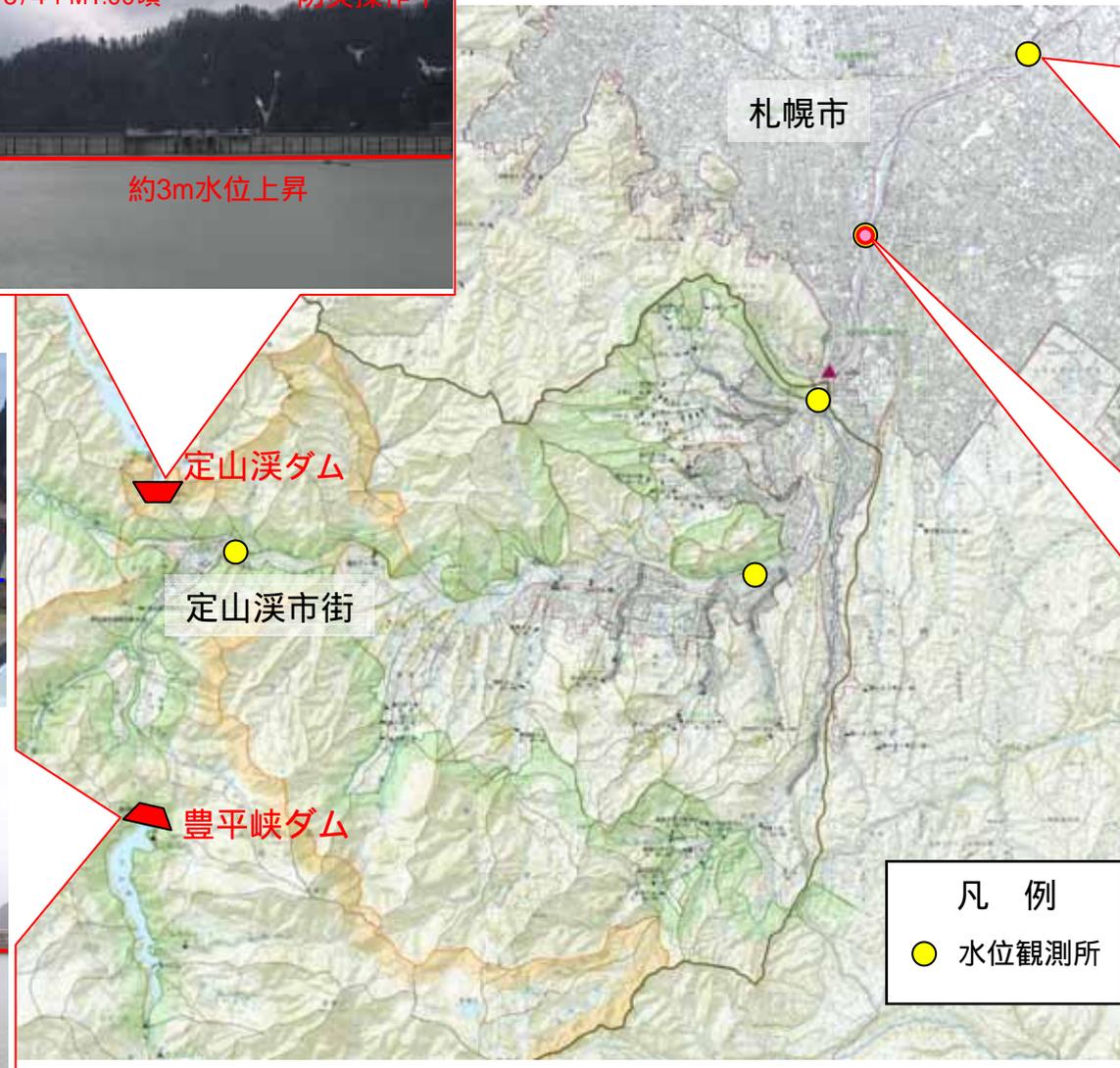
豊平峡ダムの貯留状況

5/2 AM11:30頃



防災操作中

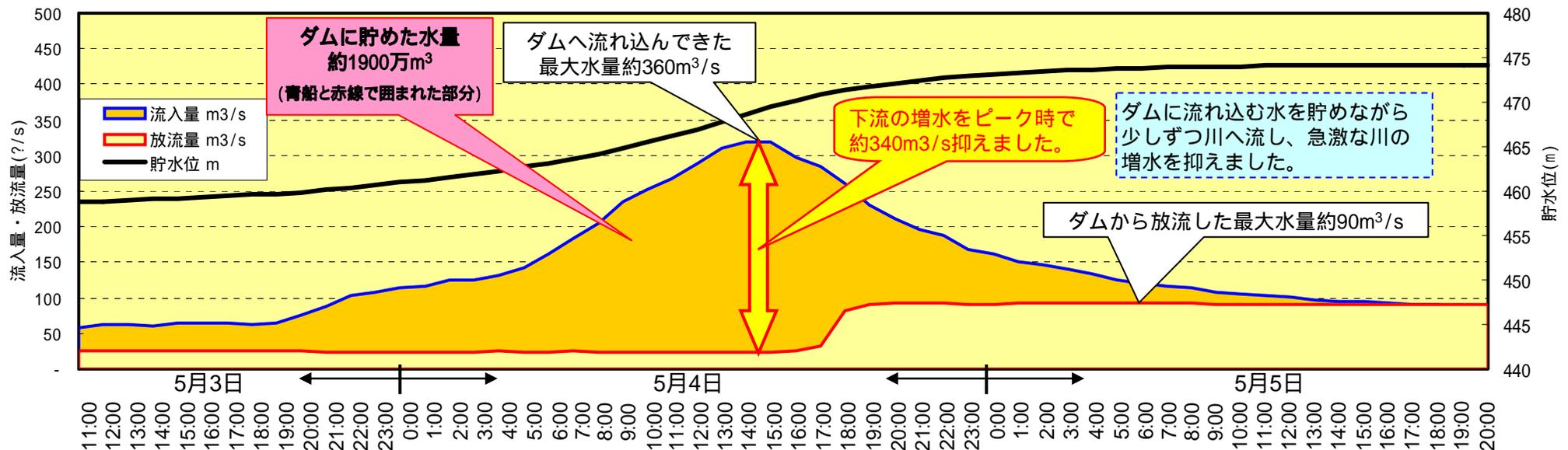
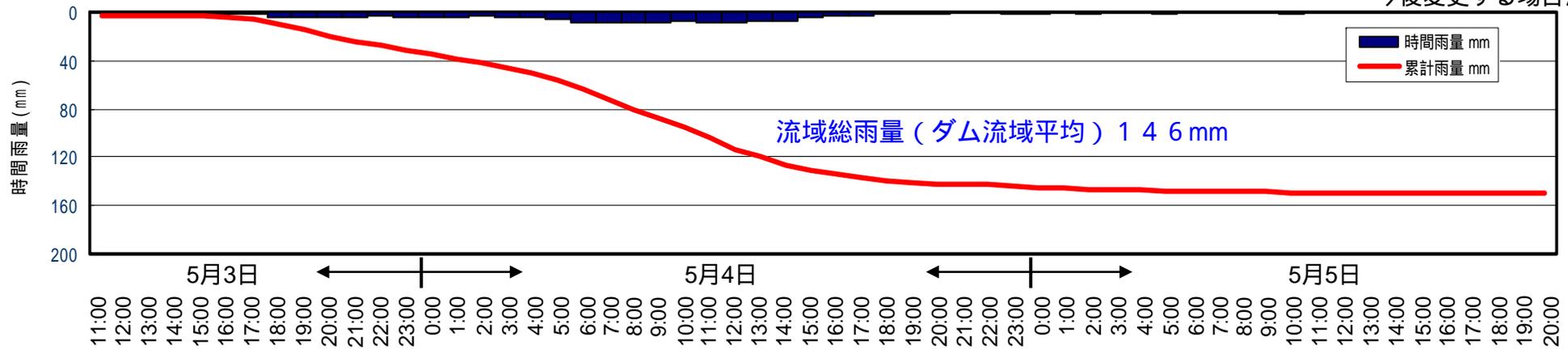
5/5 AM10:00頃



豊平峡ダムの防災操作状況

今回の融雪等による出水において、豊平峡ダムでは、最大で毎秒約360m³の流入がありました。それに対し下流への放流を最大でも毎秒約90m³程度に抑え、差分の約1,900万m³（札幌ドーム約12個分）の洪水を貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。

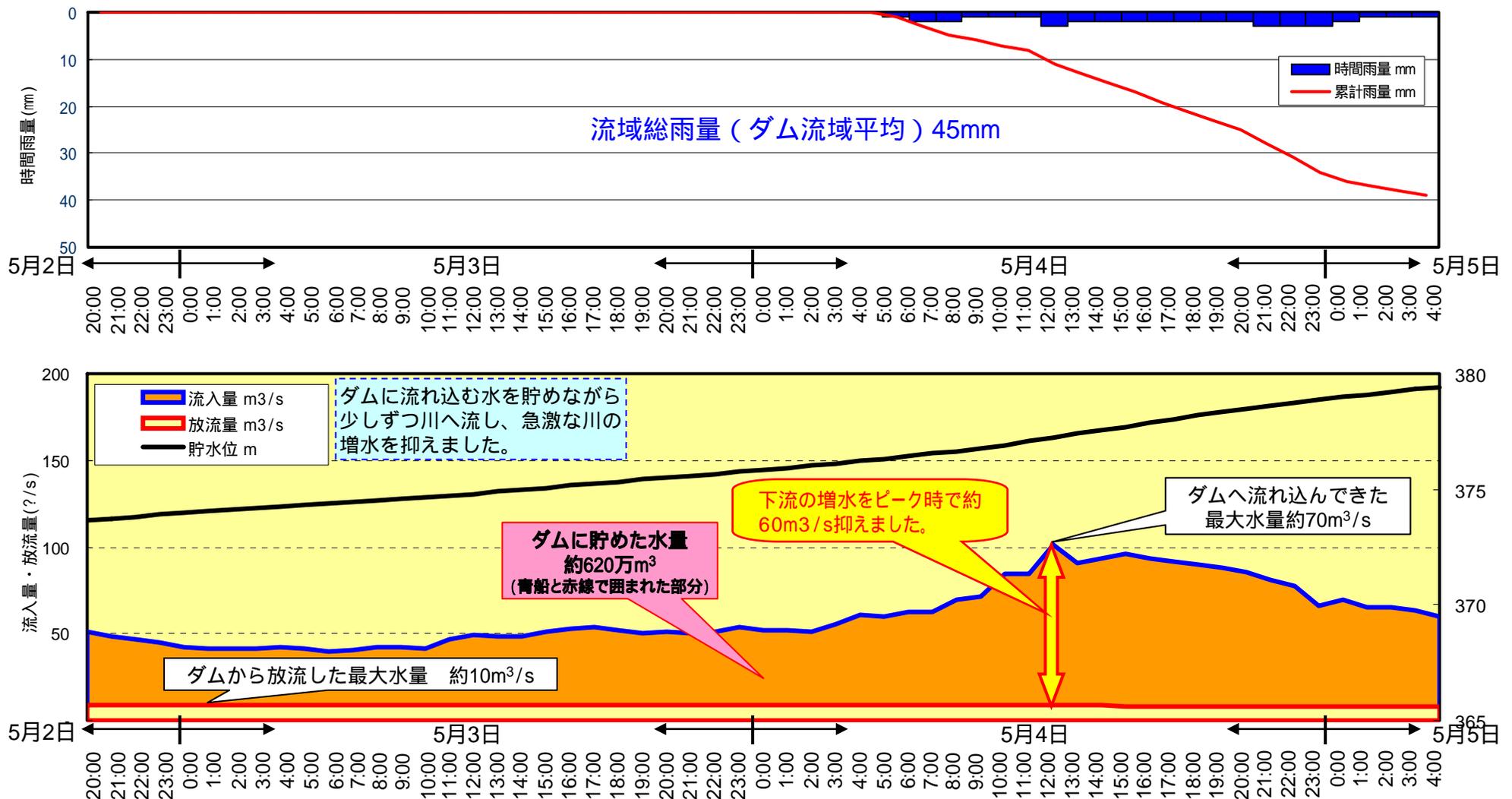
このデータは速報値であり、今後変更する場合があります。



定山溪ダムの防災操作状況

今回の融雪等による出水において、定山溪ダムでは、最大で毎秒約100m³の流入がありました。それに対し下流への放流を最大でも毎秒10m³程度に抑え、差分の約620万m³（札幌ドーム約4個分）の洪水を貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。

このデータは速報値であり、今後変更する場合があります。

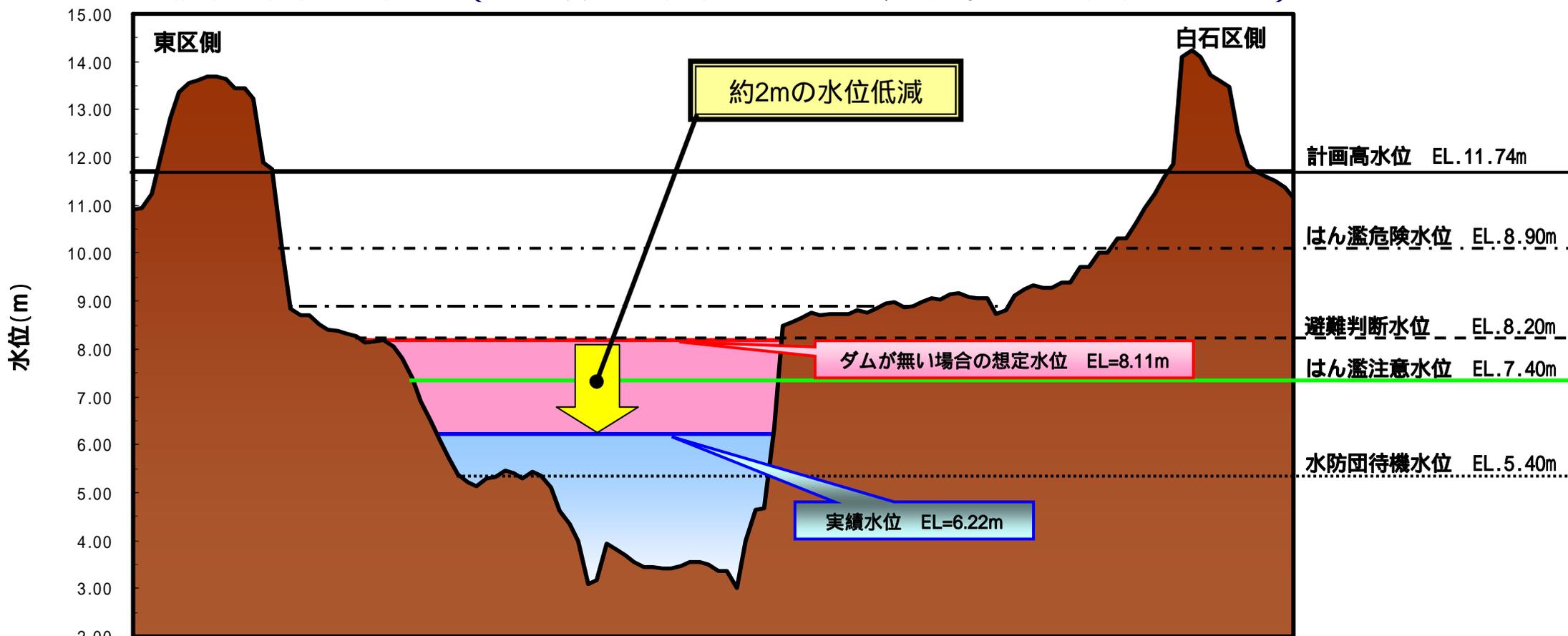


豊平峡・定山溪ダムによる水位低減効果（雁来水位観測所地点）

豊平峡ダムと定山溪ダムの防災操作により、豊平川の北13条大橋付近（雁来水位観測所）付近の水位を約2m程度低減させたと想定されます。これにより「はん濫注意水位」を超える水位上昇を抑えるとともに、公園等に利用されている河川敷への濁流の流下を抑えたと推測されます。

平成24年5月8日現在（速報値）

雁来水位観測所地点（豊平峡ダム下流約39km、定山溪ダム下流32km）



この断面図は、上流から下流に向かって左右を表しています

このデータは速報値であり、今後変更する場合があります。